



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 広報展「下野市産業祭」～地域活性化のために～

自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 宅原 陸尉）は、10月29日（日）、大松山公園（栃木県下野市）で実施された「下野市産業祭」において、中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け広報展を実施した。

この産業祭は、地域産業全般の振興発展及び市民との交流を通して地域活性化を目的として行われ、多くの地域住民が参加し、自衛隊広報展にも多くの来場者が訪れた。

当日は、季節も秋めいた小雨の降る中であつたが、高機動車展示、制服試着、組みひも及び自衛隊紹介コーナーなど、子供から大人まで沢山の来場者が訪れ、制服姿の写真を撮ったり高機動車の運転席に座ったりして楽しんでた。

小山地域事務所は「今後も、自衛隊に対する興味や理解促進に努め、自衛隊を身近に感じてもらえるよう広報イベントに積極的に参加していく」としている。



制服試着を楽しむ来場者



家族で試着を楽しむ来場者



高機動車展示（中央即応連隊）



組みひも教室



## SUPER GTで自衛隊をPR ～F-2展示飛行、最終戦開幕に花を添える～

栃木地方協力本部は「今後も広報イベントを通じて、地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動していくとともに自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していく」としている。

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は11月5日（日）、栃木県のモヒリテイルゾートもてぎ（旧ツインリンクもてぎ）で開催された「2023 AUTOBACS SUPER GT Round 8 MOTEGI GT 300km」において、自衛隊広報ブースを出展した。また、航空自衛隊第4航空団第21飛行隊（松島）に所属するF-2戦闘機の展示飛行支援を実施し、最終レース前に花を添えた。

当日はレース前から多くの来場者が訪れ、広報ブースではF-2戦闘機のタペストリー、階級章、F-4戦闘機スロットル及び操縦桿展示などを行い、長い行列ができていた。また、展示飛行地上要員として支援をいただいたF-2戦闘機パイロットの2人（大久保博幸3空佐、水野真和3空佐）が広報ブースを訪れ、サインや記念撮影に応じたほか、操縦桿の説明を行った。「このスイッチは何ですか？どうやって操縦するのですか？」と来場者は、夢中で質問し操作していた。

オープニングセレモニーにおいてF-2戦闘機2機が会場上空を飛行した場面では、大きな歓声が上がリ、来場者が一斉に空を見上げ、その雄姿を撮影していた。SUPER GTに参加しているレーシングカーに負けない轟音を響かせ現れるF-2に「すごい迫力で、すごくカッコ良かった！」「感動しました！もっとF-2を見たいです！」等の声が聞かれ、「戦闘機のパイロットにはどうしたらなれますか？」と隊員に話す小学生の姿もあつた。

